



藤岡市

第83号

議会だより

6月定例会の
ありまし

定例会は、6月14日から6月27日までの14日間の会期で開催されました。

藤岡市税条例の一部改正についてなど7議案が提出されました。

◆14日〓本会議 会期の決定。

市長提出議案7件を即決。

◆22日〓本会議 一般質問。

◆25日〓本会議 一般質問。

◆27日〓本会議

●発行日 平成30年8月15日 ●発行 藤岡市議会 ●編集 藤岡市議会だより編集委員会 ●印刷 イシイ印刷株式会社
●藤岡市議会ホームページ <http://fujioka.gijiroku.com/>

正・副議長決まる

5月臨時会において正・副議長が決まりました。

就任ごあいさつ

市民の皆様にご挨拶申し上げます。

市議会の活動につきましては、日頃より市民の皆様方の深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。この度、平成30年第2回藤岡市議会臨時会におきまして、議員各位のご推挙により、私どもが議長・副議長の要職に就くことになりました。今、改めてその重責と使命の重大さを痛感しているところであります。今年度、藤岡市は第5次藤岡市総合計画のスタートの年となります。将来像は「郷土を愛し、未来を創生する藤岡」と定め、長い年



副議長
野口 靖



議長
反町 清

月で培われた歴史、文化や豊かな自然を有する本市を市民一人ひとりが郷土として愛し、市民と行政が協働して明るい未来を創っていくくまちづくりを進めていきます。

二元代表制の一翼を担う市議会としては、市長をはじめとする執行機関と真摯な議論を重ね、行政のチェック機能はもとより、意思決定機関としての責務の重さを認識し、市民の皆様と共に、より住みやすい豊かな藤岡市実現のため、誠心誠意努めてまいりたいと考えています。なにとぞ、市民の皆様のご指導とご支援をお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

議案等審議結果〈5月臨時会〉

番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
報告 2 号	専決処分の承認を求めることについて（藤岡市税条例の一部を改正する条例）	承認（全員）
報告 3 号	専決処分の承認を求めることについて（藤岡市都市計画税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例）	承認（全員）
報告 4 号	専決処分の承認を求めることについて（藤岡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認（多数）
報告 5 号	専決処分の承認を求めることについて（平成29年度藤岡市一般会計補正予算（第6号））	承認（全員）
報告 6 号	専決処分の承認を求めることについて（平成29年度藤岡市下水道事業特別会計補正予算（第2号））	承認（全員）
第 5 5 号	固定資産評価員の選任について	同意（全員）
選挙、選任		
	議長の選挙	反町 清 当 選
	副議長の選挙	野口 靖 当 選
	経済建設常任委員会副委員長の互選	冬木 一俊 当 選
	議会運営委員会委員の補欠選任	冬木 一俊 選 任
	議会運営委員会委員長の互選	松村 晋之 当 選

議案等審議結果〈6月定例会〉

番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
報告 7 号	平成29年度藤岡市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	報 告
報告 8 号	平成29年度藤岡市下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書について	報 告
第 5 6 号	藤岡市税条例の一部改正について	可決（全員）
第 5 7 号	藤岡市地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決（全員）
第 5 8 号	藤岡市道路占用料徴収条例の一部改正について	可決（全員）
第 5 9 号	藤岡市市営住宅設置条例の一部改正について	可決（全員）
第 6 0 号	藤岡市立学校体育施設の開放に関する条例の一部改正について	可決（全員）
第 6 1 号	市道路線の認定について	可決（全員）
第 6 2 号	平成30年度藤岡市一般会計補正予算（第1号）	可決（全員）
選挙		
第 3 号	群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員の補欠選挙	反町 清 当 選

新市長の 施政方針について

青木 貴俊

問 市長の市政運営に当たつての基本姿勢について伺います。

答 これからの行政運営は、子どもやお年寄りの見守りから、大きな市の事業の実施に至るまで、市民と行政とが協働していかなければ、真に市民のためになる施策の推進は難しいと思つてい

ます。そのため、人と人、心と心が通い合う市民のきずなを醸成し、市民と行政との協働したまちづくりを進めてまいります。また、培われた歴史や文化、豊かな自然、さらには地域産業を振興し、充実した産業基盤を将来にしっかりと継承し、このことを基本に取り組んでまいります。

問 現在、本市の財政状況は、主に経常収支比率が高い数値にあると思ひますが、この状況を踏まえた上で今後市政をどのように運営する考えなのか伺います。

答 歳入歳出の両面から徹底した行財政改革に取り組み、また、国や県の補助金を初めとした優遇制度を確保しつつ、将来にわたる健全財政、持続可能な市政運営をしっかりと考えながら、将来のために今やっておかなければならない事業には、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。

問 今後の市政運営における具体的な施策について伺います。

答 来年度の4月末をもって平成の時代が閉じるこの機会を捉えて、地域に残る遺産や伝統行事などの記録を残しておく事業を行います。また、県が進めている「花と緑のぐんまづくり」のイベントを、平成32年度に本市で実施することで内定をいただいています。さらには、老朽化した地区公民館の耐震補強と大規模改修を来年度から計画的に進めていきます。そして、新たな工業団地の整備の検討に取り組みと共に、行財政改革の一端と、新たな行政課題

に迅速かつ的確に対応していくために市の機構改革を行います。



防災公園について

冬木 一俊

問 本事業の整備計画について伺います。

答 整備計画については、今年度、既に指名競争入札により基本設計、実施設計業務を県内業者に委託し、進めているところです。防災公園として必要な施設を適正な規模、配置で計画し、平常時は市民の憩いの場として親しまれる公園造りを

したいと考えています。

問 整備をされる施設については、具体的にどのようなものを計画しているのか伺います。

答 現在計画している整備施設は、備蓄倉庫、ヘリポート、仮設住宅建設用地としての芝生広場、平常時に利用する園路、遊びの広場、駐車場、トイレ2カ所、調整池兼芝生広場2カ所などを考えています。

問 本事業の財源と年度別事業費並びに総事業費について伺います。

答 財源は、緊急防災・減災事業債を活用し、平成30年度から平成32年度の3カ年計画で実施したいと考えています。事業費は、平成30年度で3億800万円、平成31年度で2億1800万円、平成32年度で5億1800万円、3カ年の合計事業費は7億7400万円とされています。

問 新井雅博新市長には、

自然災害を初め、災害から市民の生命と財産を守る重要な責務があると考えますが、災害に対しての考え、並びに防災公園整備事業についての見解を伺います。

答 阪神・淡路大震災、東日本大震災、一昨年の熊本地震では、大きな被害をもたらしました。また、全国各地で洪水等の水害も頻発・激甚化しており、自然災害から市民の生命と財産を守ることは、市長として重要な責務であると考えています。防災公園用地は、藤岡南部土地改良事業から生み出された貴重な土地です。で、藤岡市民の安全・安心のための災害時の拠点の1つとして、また、平時には市民の憩いの場として、よりよい施設にしていきたいと考えています。



新市長の政治構想及び 魅力あふれる まちづくりについて

小西 貴子

問 新市長には、本市発展の
大いなる夢と希望を持って、
子どもたちの明るい未来を
拓くような、市民が誇りを
持てるまち、来た人が感動
するよつなまち「藤岡」を
つくっていただきたいと考
えます。人口増、来客増、
豊かさ増を図れる、まちの
ブランド化、関係人口増加
策について伺います。

答 多くの観光資源を効果
的に情報発信し、イメージ、
魅力向上を図り、ブラッシ
ュアップしていくことが大
切と考えています。

問 市内の高校に1人でも
多くの中学生が入学希望す
るよう、まずは通学の利便
性を高めていただきたいと
考えます。自転車道、バス
停、バスと電車の時間調整
等を工夫することで、利用
者は必ず増えると思います。
市内中学生が市内の高校に
進学したくなるような取り

組みについて伺います。

答 市内中学校と市内高校
は毎年連絡会議を持ち、情
報交換をしています。こう
した取り組みを継続・発展
させると共に、連携をさら
に強め、お互いの笑顔、や
る気、希望で市内の高校を
益々盛り上げていきたいと
考えています。

キッズ(子ども)携帯の 持ち込みについて

問 日本中を震撼させるよ
うな子どもの事件が続く中
本市の父兄の中でも心配で
たまらないとの話も伺って
います。

携帯電話の学校への持ち
込みは禁止と聞いています
が、現状と今後の取り組み
について伺います。

答 本市では、携帯電話の
学校への持ち込みは原則禁
止しています。しかし、昨
今の事件を鑑み、各学校で
保護者から相談があれば、
随時話を聞き、校長が必要
と判断した場合には持ち込
みを可能としています。今

後も子どもたちの安全・安
心を大切にする学校づくり
を進めていきたいと考えて
います。



病児保育について

湯井 廣志

問 朝起きたら子どもが風
邪を引き、保育園や幼稚園
に通えず受け入れを拒まれ、
親も仕事を休めないことが
あります。本市には病児保
育所がないために、子ども
が病気になるると会社を欠勤
するか、市外からも受け入
れてくれる高崎市内の施設
を利用するしかありません。
遠距離でお迎えに間に合わ
ず、結局は仕事を早退しな

ければならないそうです。
子育て支援には欠かせない
最後のとりでが、この病児
保育所です。本市でも、こ
のような施設を早急に開設
すべきであると思いますが、
開設する考えがあるか伺
います。

答 必要とする保護者がい
るということは承知してい
ます。
今後、どのような運営形
態が適切なのか、他市の状
況を参考に調査研究し、住
民ニーズに答えられるよう
努力したいと考えています。

公立藤岡総合病院に ついて

問 病院跡地は、これだけ
の資産をどれほど有効に活
用するのが第一で、市民
もこれを望んでいます。

子育て世代から高齢者ま
で使える総合福祉の拠点に
すべきであると考えます。
耐震基準を満たしていない
西病棟は取り壊し、東病棟
と手術棟を改築し、この拠
点の中に夜間急病診療所、
介護サービス事業所、高齢

者居宅施設、特別養護老人
ホーム、保育所、スーパ
ーマーケット、温浴施設、病
児保育所などを造ることが、
この大規模な中心市街地の
跡地利用では一番良い利用
の仕方だと考えます。早急
に市民の意見を聞き、十分
取り入れ、有効活用すべき
であります。このように病
院跡地を活用する考えがあ
るか伺います。

答 現在、跡地活用 of 具体
案は決まっています。施
設を活用するのか、解体す
るのか、売却するのか、公
共利用をするのかなど、さ
まざまな可能性がありま
すので、これらを総合的に判
断していきたいと考えてい
ます。



市営住宅の 連帯保証人について

窪田 行隆

問 市営住宅に入居を希望する場合、連帯保証人が必要です。連帯保証人の資格について伺います。

答 連帯保証人の資格は独立の生計を営んでいる、入居者と同程度以上の収入がある、市税を滞納していない者であり、2名必要です。この内1名は県内に居住している方となります。

問 民法改正の影響と、身寄りのない単身高齢者等が増え、市営住宅が必要な人が、保証人が見つからずに入居できなくなる懸念があります。そこで国は自治体に対し、連帯保証人の確保を前提とすることからの転換を求めています。連帯保証人を不要とするよう、条例を改正すべきと思いますが、考えを伺います。

答 連帯保証人に関する規定の削除は管理上、総合的な判断が必要と考えます。

今後は、県や他市の状況も含め検討していく考えです。

防火シャッターの安全 について

問 全国で防火シャッターの誤作動・誤操作により、自治体庁舎や学校施設でも急に降りてきたシャッターに人が挟まれる死傷事故が多発しています。これを受けて法令で「閉鎖作動時の危害防止機構等の設置」が義務付けられましたが、未改修のシャッターは数多く残り、最近でも事故は続いています。

問 本市の市有施設での防火シャッターの設置数と、危害防止機構の未設置数を伺います。

答 市有施設には、26施設に92基が設置されています。このうち6施設23基については、危害防止機構がありません。

問 危害防止機構の無い防火シャッターには、改修などの対策が必要です。改修には可動座板式であれば、

低コストで整備できます。必要なものに、危害防止機構の設置を行うべきと思いますが、考えを伺います。

答 市有施設は不特定多数の方が利用しますので、危害を防止する対策が必要です。大規模改修にあわせて改修や早期の改修など、施設ごとに対策の方法や時期を検討します。

北部環状線について

茂木 光雄

問 鍋川新橋から中栗須地区の現状と今後について伺います。

答 現在3つの事業が進められています。

1つ目は、群馬県事業の主要地方道寺尾藤岡線バイパス工事で、高崎市にある高崎商科大学付近から鍋川新橋を経て、本市の都市計画道路中上大塚線までの区

間です。現在、藤岡土木事務所において鍋川新橋の上部工の工事を行っており、橋梁部分の完成は平成32年度の予定です。

2つ目は、群馬県企業局が整備を進めている藤岡インターチェンジ西産業団地内の道路で延長約260m、幅員は14・5mで、県が道路詳細設計を行います。

3つ目は、本市の事業で、中栗須地区の主要地方道藤岡本庄線から主要地方道前橋長湫線までの延長515mを現在整備中です。進捗率は55%で平成34年度の完成を予定しています。また、これらの中間地点に当たる都市計画道路中上大塚線から主要地方道前橋長湫線までの区間については、今年度県で策定された「はばたけ群馬・県土整備プラン」に平成39年度までに着手予定とされています。この区間の道路整備は本市のまちづくりの重要施策であり、県と協議連携し、早期の完成を目指したいと考えています。

子供の安全・ 安心対策について

問 通学路の安全対策について伺います。

答 通学路の安全対策、子どもたちの安全確保は最上位の行政施策です。通学路への防犯カメラの設置については、通学路全体を網羅して安全を確保するには大きな経費を要することから、補助金等のない現状では設置は難しいと考えています。しかし、犯罪抑止効果、さらには犯罪があったときのいち早い解決への道につながっていくことも立証されていますので、庁内でさまざまな案件を検討していきたいと考えています。



ららん藤岡を拠点とする
観光振興について

岩崎 和則

問 ららん藤岡は一般道からの進入割合が高く、近隣住民が日常生活圏の商業施設として利用しています。観光施設としての利用割合を高めるには、高速道路からの乗り入れ客の増加が重要ではないかと思えます。全国20力所で高崎玉村スマートインターと同様の「賢い料金」制度の社会実験を行っているのですが、藤岡ICへ導入する考えがあるか伺います。

から目的地型の観光拠点施設に、またここを拠点として周辺観光施設、観光資源へ観光客を誘導していくにはどのような方策、施策を考えていますか。また、「花と緑のぐんまづくり」へ参加することですが、花を活用した観光振興について考えを伺います。

答 ららん藤岡は、年間240万人以上の来場者のある施設であり、目的地型へのさらなる磨きをかけていきたいと考えます。藤岡インターチェンジの有効利用として、「賢い料金」制度の社会実験や平成32年度開催のぐんまデスティネーションキャンペーンや本市での「花と緑のぐんまづくり」の開催予定等、さまざまな観光振興事業を実施していきたいと考えます。また、本市は群馬県道の駅の連絡協議会の会長で、以前は関東道の駅連絡協議会の会長も務めていたので、このことを最大限活用して国土交通省と道の駅のあり方を協議していきたいと考えます。これからは観光施設への

問 ららん藤岡を立寄り型

入り込みではなく売り込みを推進していきたい、本市にある本物の自然、体験型の施設、おいしい果物・野菜などを売り込み、多くの人たちを誘客していきたいと考えています。



防災の体制について

中澤 秀平

問 防災公園の役割について伺います。

答 防災直後には近隣住民の一時的な避難場所、備蓄品の保管場所、支援物資の集配拠点を、また避難生活が長引く場合には仮設住宅建設用地を想定しています。

問 地域の避難場所の役割と備蓄体制について伺いま

す。

答 現在指定されている避難場所も変わらず活用を考えています。避難場所に指定されている小・中学校には非常食等を備蓄していませんが、総合的な備蓄の在り方を検討しています。

問 身近な避難場所の備蓄等の体制の充実は早急に進めるべきです。市の考えを伺います。

答 備蓄体制の検討を進め、なるべく早く1年以内には結論を出したいと考えています。

市政の方針について

問 病児保育の県内の実施状況と市内保護者への対応について伺います。

答 県内で実施している自治体は7市9施設で、藤岡市民の問い合わせに対しては高崎市の施設を紹介しています。

問 高崎市での実施施設の

利用者の実績について伺います。

答 平成29年度は約2000人と聞いています。

問 利用実績から、利用希望者が重なる時期には市内でも実施の必要性は高いと考えますが、今後について伺います。

答 他市の状況を参考に調査研究し、ニーズに応えたいと考えています。

問 学校給食費の無償化の費用と実施について伺います。

答 無償化のためには2億5000万円以上の財源が必要なこと、無償化実施の考えはありません。

問 第3子以降一部無料とする場合の市の財政負担について伺います。

答 現在の第3子以降の子どもの在籍数から、必要な財源は3500万円程度と想定されます。

市政の現状について

橋本 新一

問 新市誕生の平成18年度と10年経過後の平成28年度の予算額、人口数、職員数及び主な指標の推移と比較について伺います。

答 予算については、平成18年度が210億1000万円、平成28年度が274億1000万円、64億円の増となっています。予算額を市税などの自主財源、地方交付税などの依存財源の割合で見ると、平成18年度が自主財源49・9%、依存財源50・1%、平成28年度が自主財源42%、依存財源58%で、自主財源が7・9ポイントの減となっています。

經常収支比率では、平成18年度が95・1%、平成28年度が98%で、2・9ポイントの増となっています。公債費負担比率では、平成18年度が14・2%、平成28年度が18・2%で、4・0ポイントの増となっています。地方債残高では、平成18

年度が203億9000万円、平成28年度が225億1000万円、21億2000万円の増となっております。

人口数については、平成18年4月1日が7万1211人、平成28年4月1日が6万7001人で、4210人の減となっています。

職員数は、平成18年4月1日が一般職員508人、平成28年4月1日が一般職員458人で、50人の減となっています。普通会計での人件費総額は、平成18年度が40億6000万円、平成28年度が35億2000万円、5億4000万円の減となっています。

問 これらの数字に対する見解を伺います。

答 小・中学校の大規模改修、耐震化補強工事などの普通建設事業が予算総額を押し上げ、財源として合併特例債等を活用したことにより、地方債残高が増えています。この地方債の償還による公債費の増加により、公債費負担比率が上昇し、

加えて、子ども・子育て支援関連経費などの社会保障関連経費の増により、經常収支比率が上昇しています。經常収支比率を改善すべく、歳入歳出の両面から徹底した行財政改革への取り組みを行うほか、機構改革を実施し、執行体制の一層の強化並びに効率的・効果的な組織体制の確立を図ってまいります。

子育て支援の充実について

内田 裕美子

問 少子化対策や、子育て世帯の保護者の経済的負担を減らし、移住につなげる狙いで、小・中学校の給食費を無料化したり、一部補助したりする動きが、全国及び群馬県内の市町村で広がってきています。本市としても、多子世帯支援として、第3子以降の学校給食費の補助ができないか伺います。

答 少子化対策として、費用対効果、また保護者を中心とした教育現場の声などを勘案しながら、状況を見きわめていきたいと考えます。

救命救急施策について

問 心肺蘇生教育・救命講習は、大人のみならず、児童・生徒の命を守るためにも重要と考えます。今後は、学校における救命講習の回数を増やしたり、未実施の中学校も含め、全小・中学校で救命講習を行うべきと思いますが、考えを伺います。

答 今後は、現在実施をしていない2つの中学校でも、それぞれ中学校区ごとの講習を行い、万一のときに備えて、教職員や保護者、生徒の救命救急への意識や技能の向上を図り、担任が中心となって指導を行えるような体制を整えていきたいと考えます。

問 本市で設置しているAEDは、屋内に設置されているようです。しかし、学校では休日に校庭で運動する部活等も多いと思われるので、屋外にも設置すべきです。しかし、その場合は、温度管理のできる収納ケースでなければならぬため、設置には費用もかかります。そこで、収納ケースに広告が掲載されている広告付AEDを活用することで、費用がかからず屋外への設置が可能となりますので、広告付AEDを設置する考えがあるか伺います。

答 広告付のものを屋外へ設置できれば、費用もかからず、コンビニエンスストアのように24時間対応することもできますので、今後研究をしていきたいと思っております。



市議会を傍聴しませんか？

議会は、3・6・9・12月の定例会と随時に開催する臨時会があります。

◎本会議の傍聴

本会議は、一般の方に公開されており、いつでも傍聴することができます。事前の予約は必要ありません。

傍聴を希望する本会議の当日に、傍聴人受付（市役所2階 議会事務局前）で、受付簿に住所、氏名を記載し、番号札を持って入場します。

傍聴される方に議案集の貸し出しも行っています。

傍聴人の定員は58人です。

◎委員会の傍聴

委員会も本会議と同様の手続きで傍聴することができます。

傍聴を希望する委員会当日に議会事務局までお越しください。

日程については、市議会事務局にお問い合わせください。

また、藤岡市ホームページの「藤岡市議会」→「議会の情報：会議のお知らせ」にも開催予定日を掲載しています。

■9月定例会（予定）

※議事の都合により変更となる場合があります。

月 日	時 間	摘 要
9月4日(火)	10:00	本 会 議
9月5日(水)	10:00	本 会 議
9月6日(木)	10:00	常任委員会
9月7日(金)	10:00	常任委員会
9月12日(水)	10:00	一 般 質 問
9月13日(木)	10:00	一 般 質 問
9月18日(火)	10:00	決算特別委員会
9月19日(水)	10:00	決算特別委員会
9月21日(金)	10:00	本 会 議

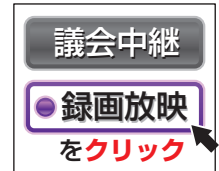
問い合わせ ▶ 市議会事務局 ☎40-2377

議会中継をご覧ください

藤岡市議会では、市民に開かれた議会を目指し、インターネットによる録画配信を行っています。

藤岡市議会のホームページから、議会中継を見ることができます。

現在、インターネットで配信されている映像は、平成25年第4回定例会から、6月22日・25日に行われた平成30年第3回定例会（今号掲載分）までの一般質問の様子です。ぜひ、ご覧ください。



議 会 だ よ り 編 集 委 員 会
 委 員 長 松 村 晋 之
 副 委 員 長 青 木 貴 俊
 委 員 大 久 保 新 城 一
 湯 井 本 協 一
 窪 田 廣 志
 冬 木 行 隆
 針 谷 賢 一

致 謝 書
 今 後 も、市 民 の 皆 様 に 親 し ま れ る 紙 面 づ く り を 目 指 し ま す の で、よ ろ し く お 願 い 致 し ま す。

4 月 の 市 長 選 挙 後、初 め て の 定 例 会 が 開 催 さ れ ま し た。新 議 長 の も と 議 案 7 件 の 議 決 を 行 い ま し た。一 般 質 問 で は、10 名 の 議 員 に よ り 活 発 な 議 論 が 行 わ れ ま し た。

また、編集委員会も5月の臨時議会より変更され、以下の委員で議会だよりの編集を進めてまいります。

編 集 後 記